

2019 NISSANCUP 大会

オペレーションマニュアル 【スイム】

【TO用】
第 1.4 版

作成者	陣川 学士
作成日	2019年5月30日
最終更新日	2019年6月7日

目次

2019 NISSANCUP 大会	1
目次	2
体制	3
1. TO・ボランティア一覧	3
会場・コース	5
1. スタッフ配置図	5
2. スタッフ配置図(計測ポイント付近拡大図)	6
3. コース図	7
業務詳細・留意事項	8
1. 共通事項	8
2. 業務別詳細および留意点	8
3. 救護を要する選手の対応	10
4. 制限時刻対応	10

■略語一覧

TO	テクニカル・オフィシャル(審判員)
HR	審判長

体制

1. TO・ボランティア一覧

チーフTO/サブチーフTO一覧

名前	ポジション	役割	連絡先
陣川学士	C チーフ	全体統括、選手説明他 ※要水着、ボランティアお迎え	
海野浩	SC サブチーフ	水上監視(IRB乗船) ※要水着 or ウェットスーツ	

TO一覧および担当エリア

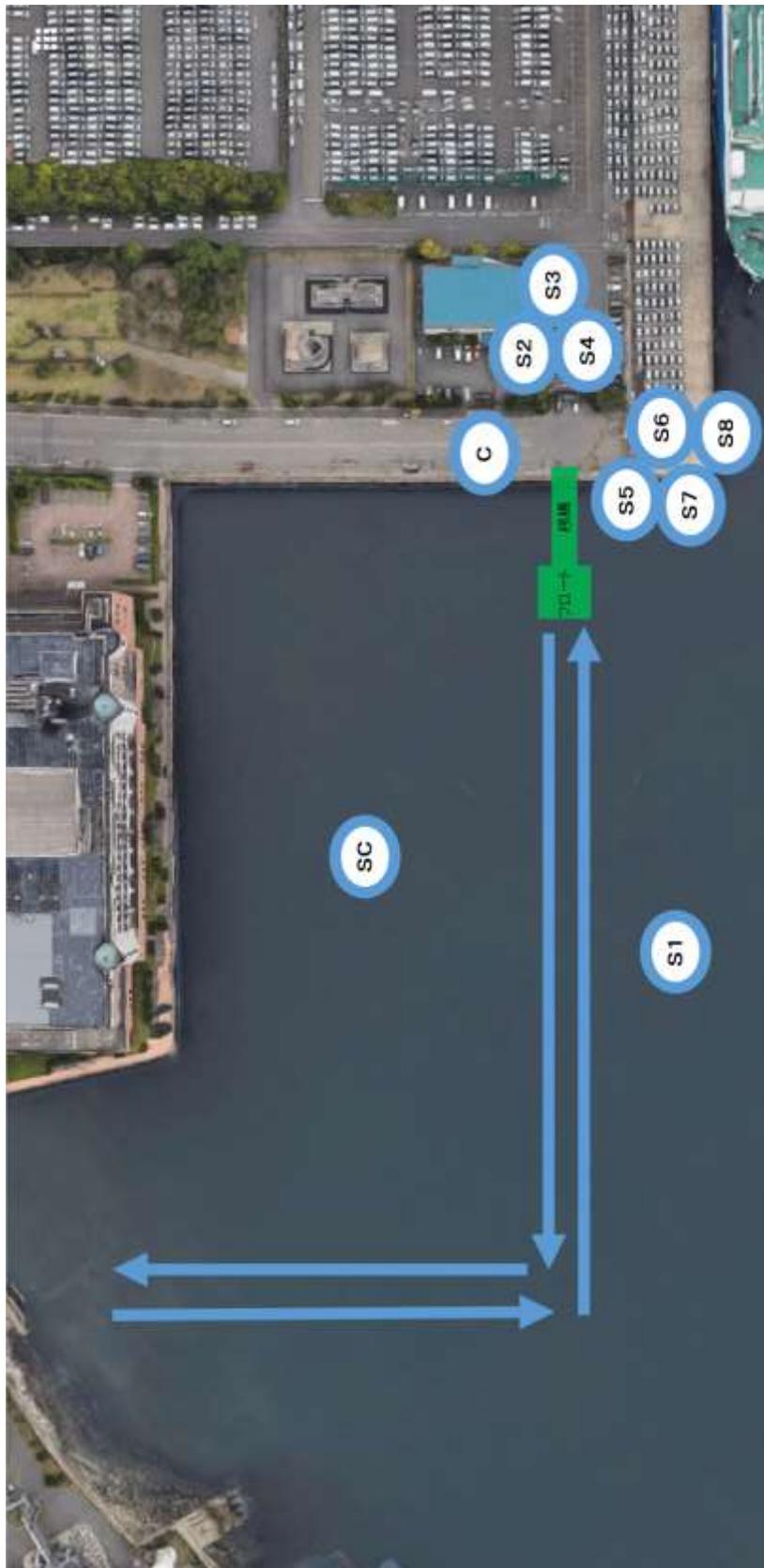
名前	ポジション	担当・役割	備考・備品
小原博史	S1	水上監視(IRB乗船) ※要水着 or ウェットスーツ	
多田裕彦	S2	計測チップ渡し DNS管理報告 他	計測チップエリアリーダー
森高律子	S3		
小池康修	S4		
今橋尚也	S5	選手整列、誘導 DNF管理報告 他	選手整列エリアリーダー (兼)SEA
伊東亨	S6		(兼)SEA
小西輝佳	S7		
森田正人	S8		

ボランティア一覧および担当エリア

ポイント名	人数	担当・役割	指揮担当TO
S2-S4	6名	計測チップ渡し	S2
S5-S8	4名	スイムエイド、選手補助	S5

会場・コース

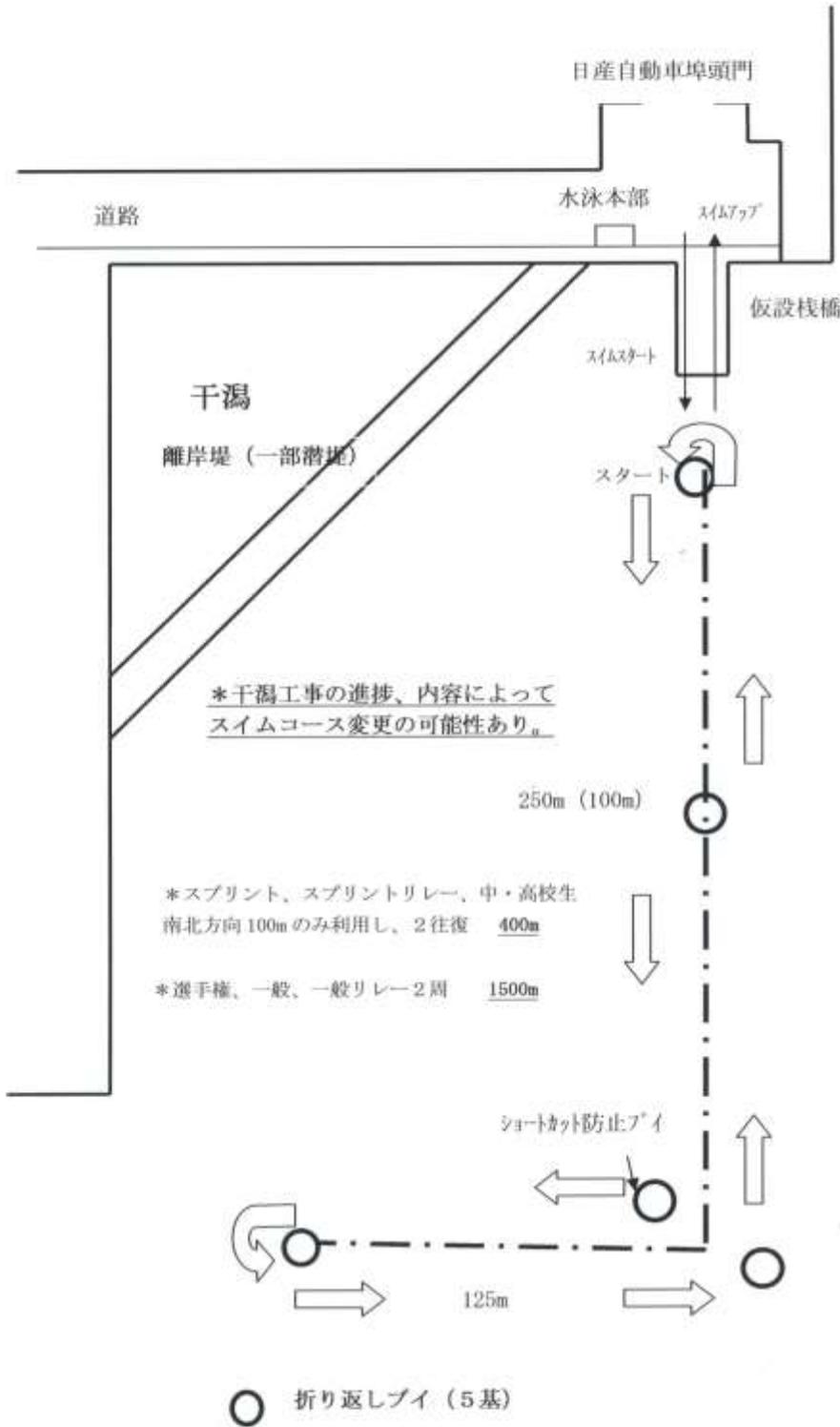
1. スタッフ配置図



2. スタッフ配置図（計測ポイント付近拡大図）



3. コース図



業務詳細・留意事項

1. 共通事項

- ・ コース設営
 - ・ 海上のコース設営、栈橋設営は、TOは行わない(SBR、西浜SLSC)
 - ・ 栈橋～トランジションへの動線を用意する。(人工芝マット)
- ・ 業務担当
 - ・ 各TOは主担当の業務を行う
 - ・ 各ポイントの近隣TOの業務を把握し、緊急時等にサポートできるように準備しておくこと
- ・ タイムチャート
 - ・ 「競技運営マニュアル」、および「大会当日前後スケジュール」を参照
- ・ レスチューブの取り扱い
 - ・ 「競技運営マニュアル」に準じる。

2. 業務別詳細および留意点

業務・ポイント名	担当者※	業務詳細・留意事項
水温計測・報告	C	<ul style="list-style-type: none"> ・計測時刻は、競技運営マニュアル参照。 ・掲示板にて計測内容の報告を行う
ボランティア対応	C	<ul style="list-style-type: none"> ・大会本部へボランティアを迎えに行く。(時間は、「競技運営マニュアル」参照) ・パート毎に、業務内容を確認する。
計測チップ渡し DNS管理	S2、S3 S4	<ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリ別、レースナンバー順に計測チップを並べる ・選手がレースナンバーを告げたら、レースナンバーを復唱しながら選手にも確認を促しながら渡す ・DNSを申告した選手情報をエリアリーダーがまとめ、スタートリストにチェックし、Cへ報告する。 ・スイムスキップ対象者がいた場合はCへ報告する。(スイムスキップについては、後述「スイムスキップ」参照)
選手整列	S5、S6 S7、S8	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェーブごとに選手を整列させる
DNF管理	S5、S6 S7、S8	<ul style="list-style-type: none"> ・スイムDNF(リタイア、タイムオーバー)選手から計測チップを回収し、スタートリストにチェックをする ・DNFの選手リストをエリアリーダーとりまとめ、Cに報告する。 ・スイムスキップ対象者がいた場合はCへ報告する。(スイムスキップについては、後述「スイムスキップ」参照)
競技説明	C	<ul style="list-style-type: none"> ・コース解説、スイムキャップ着用確認、計測チップ着用方法の説明、レースナンバーの確認、制限時刻説明、隣の人と握手(緊張緩和)
スタート前選手確認	S5、S6 S7、S8	<ul style="list-style-type: none"> ・入水人数確認(カテゴリ毎・カウンターでのチェック) ・計測チップ着用確認 ・スイムキャップ着用確認

誘導	S5、S6 S7、S8	<ul style="list-style-type: none"> 選手待機エリアから、栈橋を通し、フロートへ誘導する。 栈橋は最大10名のみ、フロート上の混雑状況を見ながら制御する。 フロートから速やかに入水するよう、選手に呼びかける(ウェーブ間隔がとても短い)
スタート管理	HR	<ul style="list-style-type: none"> スタート号砲 スタート時フライングチェック、(フライング発生時の判断、レースナンバーチェック、対応) スタート時刻報告
スイム競技審判(水上監視)	SC、S1	<ul style="list-style-type: none"> スタート時フライングチェック、(フライング発生時の判断、レースナンバーチェック、対応) スイムショートカットのチェック、コースロープの取り扱いチェック 第一コーナでのショートカット防止に留意する。 選手権および一般の部は、第一コーナでのショートカット防止のため、ライフセーバーを配置頂く。 ライフガードと協働し、選手の安全監視を行う。 競技運営状況に合わせて、コース切り替えタイミングを、ライフガードとすり合わせる。
周回チェック	SC、S1	<ul style="list-style-type: none"> 周回は上陸せずに海上のブイを周回する。ショートカットしそうな選手に注意を促す。
先頭選手スイムアップ報告	C	<ul style="list-style-type: none"> 各ウェーブ先頭選手のスイムアップ時に報告
スイムアップ選手確認	S5、S6 S7、S8	<ul style="list-style-type: none"> 出水人数確認(カテゴリ毎・カウンターでのチェック)
コースロープの位置替え	—	(SBR、および、西浜SLSCにて実施)
エイド	S5 ボランティア	
トランジションへの選手誘導	S5、S6 S7、S8	<ul style="list-style-type: none"> トランジションへ、選手を誘導する。 観客の制御を行う。
スイムスキップ対応	C	<ul style="list-style-type: none"> スイムスキップは、スプリント(リレー)、一般(リレー)のみ受け付ける。 事前スキップ: 受付本部へトランジション動線も近いので、チームアンクルバンドをバイク担当に渡す。 途中スキップ: 予備アンクルバンド対応、不足時はDNS選手分に対応する
パラ選手対応(PTS2、PTVI)	C S5 S6	<ul style="list-style-type: none"> 当日朝、フロート付近でスイムアップのシミュレーションを行う。 プレトランジションを、選手待機エリアに設営する。(椅子を用意する) スイム終了後、フロートへの上陸、また栈橋の移動をサポートする(サポート方法は、事前シミュレーションで確認する)

※担当者は、適宜分担する。

3. 救護を要する選手の対応

■救護を要する選手は、フロートよりピックアップする。意識のない選手、泳ぎが安全でない選手は、TO の判断を待たずにライフガード判断で引上げて OK。

■他は競技運営マニュアルに準じる

4. 制限時刻対応

■最後尾付近の選手で、審判長が適宜判断する。(基本的にはできるだけ完走してもらう)